

標 題 農林大学校の学生と農業士との交流会を開催！

(ダイジェスト)

8月27日、管内出身の農林大学校生等と農業士との交流会を開催しました。当日は農林大学校の卒業生である青年農業士のほ場視察を行った後、意見交換を行いました。意見交換会では、農林大生の不安に感じていることに対して、農業士から自身の経験を踏まえながら親身なアドバイスをいただきました。

浜田地方農業士会は、19名の指導農業士及び青年農業士で構成され、担い手の確保・育成に向け、会員それぞれが研修生の受け入れや地元の学校と連携した体験学習に取り組んでいます。また、全体の活動として、例年、管内の農業研修生及び新規就農者を対象とした交流会を開催するなど地域農業の活性化・発展に向けた活動を行っています。

今年度は、当会として初めて、農林大学校の学生との交流会を企画しました。交流会は、浜田地方農林業振興協議会と浜田地方農業士会の共催により、8月27日に開催しました。当日は、管内出身及び管内に就農希望のある学生が5名、農業研修生1名、農業士7名のほか関係機関が参加し、計23名の出席がありました。

最初に、農林大学校の卒業生である青年農業士のほ場を視察し、就農までの経緯や現在の経営概要、農業研修生の受け入れ状況について説明を受けました。ぶどう農家のほ場を視察したこともあり、特に果樹専攻の学生からは売り方や栽培についての質問がありました。

後半の意見交換会では、最初に経験談報告として、研修生の受け入れを行っている農業士と、当農業士と師弟関係にある新規就農者の2人から、研修の心構えや地域と関わる姿勢について話していただきました。

その後、9名のグループに分かれて意見交換を行いました。意見交換は、農林大生から卒業後の進路、就農への不安等について話してもらい、農業士からアドバイスをする形で進めました。農業士からは自身の経験を踏まえながら、親身になったアドバイスがありました。農林大生に感想を聞くと、農業士との交流によって、将来のことを考える上で参考になったという意見が多くありました。また、自分の考えを持っている学生が多く、農業士の方が農林大生の意見に感心される場面もあるなど有意義な意見交換になりました。

農業振興部としては、新たな担い手の確保・育成を図っていく中で、農業の最前線で活躍する農業士の協力は不可欠であるため、引き続き農業士会と連携した活動を行っていくこととしています。



ほ場視察の様子



意見交換会の様子